

眼圧や

はかなき夢を

アーメッド



日時 | 2016年9月18日(日)
12:25~13:25

会場 | 第3会場(パシフィコ横浜 301)

座長



木内 良明 先生(広島大)

チューブシャント手術が我が国で認可を受けて早4年です。難治性緑内障の患者さんに大きな福音となったことは間違いありません。主治医としても患者の喜ぶ顔を見て「あらとうとあおば若葉のアーメッド」とチューブ手術をほめたたえる一句を思わずひねられたかもしれません。しかし、やみくもにチューブを突っ込めばよいというものでもありません。どんな手術にも良い適応、コツがあり、合併症があります。「梅が香やどなたが来てもアーメッド」と調子に乗ってチューブシャント手術を繰り返していると「おもしろうて やがて悲しき アーメッド」、と落ち込んでも困ります。チューブシャント素材もアーメッド緑内障バルブだけではなくバルベルト緑内障インプラントもあります。その使い分けも大切でしょう。そんな時はベテランの先生がたのお知恵を拝借することが一番です。そこでこのランチオンセミナーを企画しました。谷戸先生には、Pars Plana Clipを使用しない硝子体チューブ挿入のお話を、石田先生にはアーメッドバルブとバルベルトバルブにおける手術成績比較のお話を、千原先生にはアーメッドバルブの起こり得る合併症とその対策についてのお話をお話して頂く予定です。ぜひ知識を整理していただき「絶頂の技たのもしきアーメッド。」

演者



アーメッド緑内障バルブを用いた毛様体扁平部チューブ挿入の適用と術式

谷戸 正樹 先生(松江赤十字病院)



アーメッド緑内障バルブの手術成績

石田 恭子 先生(東邦大・大橋)



アーメッド緑内障バルブ術後の合併症とその対策

千原 悦夫 先生(千原眼科)